



ほけんだより

2025年2月発行
学校法人織田学園
おだ認定こども園
園内感染症流行状況は連絡アプリ
『園からのお知らせ』で随時更新中

- 1月はインフルエンザA型が流行しました。1月16日頃急に発熱者が増えましたが、20日以降園内の新規発生はなく、24日には南多摩保健所から収束、園内の感染症対策や保護者の協力体制がとても良いですねとコメントをいただきました。引き続き感染症対策にお気を付けくださいとの事です。
- 2月3日は立春。この時期は1日の中でも寒暖差や気圧の変動が大きくなりやすく、自律神経のバランスを崩しやすい時期です。予防策は、朝ごはんを食べてエネルギー不足を防ぐ。夜は湯船につかり、一度体温を上げてから下げる事で、眠りの質を良くする。などが有名です。もし忙しい時は、大きく深呼吸をするだけでも、体内に酸素を取り込んで副交感神経が優位になり、リラックス効果が期待できます。
- 1月発生 of 感染症：インフルエンザA型（43名）、胃腸炎、伝染性紅斑（りんご病） 他

花粉症対策について 2月17日～23日「アレルギー週間」

花粉症の話題が気になる季節になりました。花粉症といえばスギやヒノキが有名ですが、公園でもよく見かける『ハンノキ』の花粉症も増えているようです。

花粉症は食物アレルギーとも関連があり、幼児や大人になってからの発症もあるため、注意が必要です。

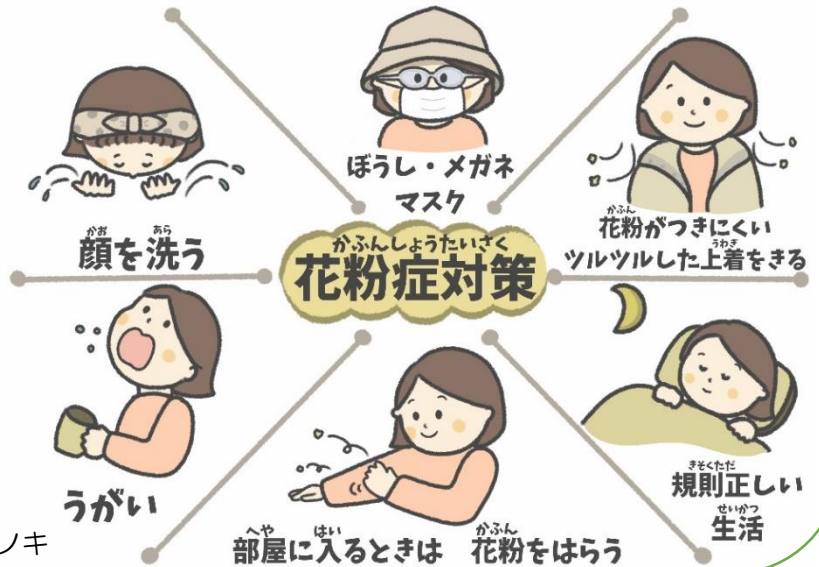


▲東京都の花粉情報



▲たからの公園のハンノキ

☆保育中の花粉症対策眼鏡や点眼薬の使用は、事前に担任までご相談ください。



子どもの窒息事故防止

- 節分の前に、[消費者庁は『食品による子どもの事故防止』について注意喚起](#)しています。
- 園でも『手に持って遊んでいて口に入れ食べてしまった』『鼻に入れてしまった』など、どんぐり・桜の実・髪ゴムの飾り・指の絆創膏・小さなおもちゃ等での事故を経験しています。
- 気管内異物の窒息事故は、完全に気道をふさいでない間はわかりにくい事も多いようです。この時大声などで驚かせたり、無理に寝かせると、吸い込んで軌道をふさいでしまい、窒息に変化する場合があります。様子を見る時は本人が好む姿勢で、興奮させたり泣かせないように心がけましょう。
- 窒息を疑う時は『背部叩打法』を行い、ぐったりした時は119番通報と心肺蘇生法を行います。迷った時や対処方法がわからない時は『#7119』へ電話するとサポートしてもらえます。
- 鼻に入れた場合、落ち着かせ異物がない方の鼻を押さえ『フン!』とさせると出る場合があります。
- 耳の場合、取ろうとして押し込み外耳を傷つける場合があるため、鼻科受診を勧めます。

◎『東京都耳鼻咽喉科医会』耳鼻科の休日当番医

【まめまきのあとのお願ひ】

園では誤嚥しやすい年齢の園児や、大豆アレルギーのある園児も一緒に生活しています。

節分後の登園は、ポケットやカバンの中に豆類が入っていないか、確認にご協力お願いします。

